

かのやの「ヒト」に クローズアップ! Close-up



作品の仕上げ作業中の様子



2010日展特選「共に響く」



2020日展特選「今を歩む」



2025日本新工芸展で内閣総理大臣賞に輝いた「響く」

漆芸家 繁昌 孝二 さん

子どもの頃は特に取り柄もない少年だったと思います。ただ、実家の柱やタンスに、よくクレヨンで落書きの絵を描いていました。また、小・中学校そして高校と、尊敬できる先生に出会うことができたので、自分もそんな先生になりたいと当時思っていました。

進学した「職業訓練大学校化学系」では、特に塗料・塗装等について多く学びました。その中で「日本の塗料・塗装の原点は漆」という前提のもと漆芸を学んでいくうちに、合成樹脂とは異なる漆の質感に魅力を感じました。

30歳を過ぎてから、短大や大学のデザイン科で教鞭をとるようになったのをきっかけに精神的に立体的オブジェの制作を始め、31歳から今日まで35年間、日展と日本新工芸展には、毎年出品しています。

作品作りにおいては「漆の素材感を大事にすること」「独創的で美しいフォルムを追求すること」「技術・技能をより高めるよう努力した上で制作すること」の3つにこだわって制作しています。日展に出品し始めた頃は10回入選するのが目標でしたが、15回目と25回目の入選時に特選をいただき、今年の日本新工芸展では、内閣総理大臣賞をいただくことができました。

漆は魔物とも呼ばれ、予想外の結果を生むことがあります。基本的には工程が多岐に渡りますが、どの工程を取っても仕事が甘いと仕上げに大きく影響を及ぼします。私は仕事柄、工業化学や工業デザインに携わってきたという経験が、多かれ少なかれ作品づくりへの良い武器になっていると思っています。

今後は自分の作品作りだけでなく、すばらしい日本の伝統文化としての工芸文化や漆芸文化を維持・向上できるような、尽力していきたいです。例えば展覧活動の推進や若手工芸家の育成、そして工芸や漆芸を愛する人やファンを増やすための活動をしていきたいと考えています。

PROFILE

鹿屋市出身で神奈川県相模原市在住。自由曲面を生かした独創的なフォルムの追求を目指して創作活動を行う。教室や大学等での講師、展覧会での審査員業務等を通じ工芸文化の普及に尽力。「関東にいる同窓生と鹿屋について語りながら芋焼酎を酌み交わしている」と語る。



Cover 今月の表紙

美里あいら夏祭り花火大会

8月3日の「美里あいら夏祭り花火大会」にて撮影。夏に行われる花火は元々、お盆に死者を弔う「鎮魂」の意味が込められていました。火花の美しさを楽しみながらも、祈りも忘れないようにしたいですね。



Contents もくじ

- 3 かのやの「ヒト」にクローズアップ!
- 4 New farmers 農で生きていく。
- 12 かのや de ワーク 大隅地区養まん漁業協同組合
- 14 国勢調査 2025 はじまります
- 15 かのやふるさと検定
- 16 交通安全を心掛けましょう
- 18 KANOYeah! CITY & C&K 地元ライブ
- 20 Hot News
- 24 情報ひろば -Information-
- 31 図書情報・休日救急当番医
- 32 スクールエール/鹿屋街道
- 33 Kanoya の取扱説明書
- 34 読者のひろば
- 35 広告のひろば
- 36 プレゼント/MOVIE でかのや/リナシアター

Topic 新米特命PR係員 誕生!



▲左からかのやカンクロウ、かのやカンパチロウ、かのやカンナナ

鹿屋市特命 PR 係長就任から 10 年を迎えたカンパチロウに念願の部下ができました! 応援よろしくお願いします!

かのやカンナナ

明るくおしゃやかな広報担当の女の子。市内の観光スポットに詳しく SNS が得意。趣味は市内のカフェ巡り。22 歳。

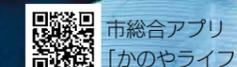
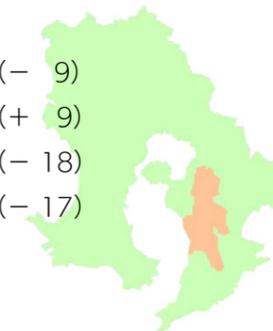
かのやカンクロウ

真面目で熱血な若手係員の男の子。正義感が強くドジだが憎めない。上司のカンパチロウを強く尊敬している。趣味はスポーツ全般。22 歳。

Information 統計情報・情報ツール

令和 7 年 7 月 1 日時点 (前月比)

- ・人口 / 96,639 人 (- 9)
- ・男性 / 46,418 人 (+ 9)
- ・女性 / 50,221 人 (- 18)
- ・世帯 / 46,292 世帯 (- 17)
- ・面積 / 448.15 km²



ラジオ「市政インフォメーション」
FM かのや 77.2MHz (平日 8:05 ~ & 16:05 ~)